

「保育事故」をなくすために(1) —重大事故の特徴と制度・実践上の課題—

企画・司会：平沼博将（大阪電気通信大学人間科学研究センター）

話題提供者：小山義夫（赤ちゃんの急死を考える会） / 仲井さやか（大阪保育研究所）

服部敬子（京都府立大学公共政策学部） / 寺町東子（(一社)子ども安全計画研究所・弁護士）

指定討論者：藤井真希（赤ちゃんの急死を考える会） / 石川幸枝（全国民間保育園経営研究懇話会）

《企画趣旨》

保育施設・保育事業で子どもが死亡するなどの重大事故が後を絶たない。2016年度から保育事故の検証制度も始まったが、再発防止の抜本的な対策とはなっていない。本シンポジウムでは、保育事故の特徴から事故が繰り返される要因を探るとともに、保育事故をなくすための制度・実践上の課題について考えたい。

《話題提供》

■保育施設における子どもの死亡事故の特徴

小山義夫（赤ちゃんの急死を考える会）

保育施設における死亡事故の8割近くが0～1歳児の睡眠中の心肺停止および死体での発見事例であり、この構図は数十年間不変である。乳幼児のうつぶせ寝放置、保育者不在環境の2点を見直すだけで死亡事故の大半が根絶できることを事実が示している。初めて保育施設に預けられ、初めてうつぶせ寝を強いられた当日の死亡事例も多く、無抵抗な乳幼児にとってうつぶせ寝体位が死を招く外因になりうるものが改めてわかる。今もなおうつぶせ寝のリスクも知らず何度も死亡事故を繰り返し、行政の立入調査で改善指導されても是正しない経営者の存在など、死亡事故の多くが保育の質が担保されない認可外保育施設で生じている。

■保育制度の課題と国・自治体に望むこと

仲井さやか（大阪保育研究所）

2001年、小泉首相（当時）は、歴代首相で初めて「保育施策や待機児童解消が重点課題の一つ」と所信表明で述べた。現在、子ども・子育て支援新制度、待機児童問題や保育施設・事業での死亡事故など、保育をめぐる報道が連日のようにある。新制度が施行されても、待機児童問題は解消せず、保育施設での死亡事故は増加している。日本の保育を巡る施策は前進していないのか？ 2000年以降進められてきた待機児童解消のために進められてきた規制緩和のなかで、日本の保育施策は前進したのか？ 保育内容は充実したのか？ 『子どもの命を守る』という最低限の保障すらできない状況について、保育施策のあり方から考えたい。

■乳児期前半における「うつぶせ寝」の危険性

—発達心理学的な分析にもとづいて—

服部敬子（京都府立大学）

うつぶせ寝の危険性はアメリカ小児科学会の勧告（1992年、2011年）でも繰り返し指摘され、『保育所

保育指針解説書』にも記載されているが、死に至る事故が後を絶たない。服部・平沼・田中（2016, 日発心）は、「赤ちゃんの急死を考える会」で以前行われたうつぶせ寝実験動画を分析し、とくに生後4～5か月児は腹臥位で頭部の上下動や、手指で敷布等のかき寄せが盛んになり、数分のうちにface downから窒息状態に陥る危険性が高いことを明らかにした。うつぶせ寝の危険性を周知徹底し、5分間隔チェックが可能な人的、空間的な保育条件の整備が喫緊の課題である。

■保育事故防止のガイドラインと検証制度の課題

寺町東子（(一社)子ども安全計画研究所・弁護士）

2016年4月、教育・保育施設等における重大事故の再発防止のための検証制度がスタートした。重大事故の7割を占める「睡眠中の死亡」は死亡原因が不詳とされることが多いため、従来、遺族が調査や裁判に注力しない限りは、教育・保育行政や事業者からは全く無視・放置されていた。検証制度は、死亡原因や法的責任の有無にかかわらず、保育のプロセスに着目して重大事故に至った要因を検証し、再発防止に繋げることを目的とする点で画期的である。検証対象とするか否かを遺族の申し出に委ねることなく、保育行政として重大事故の再発防止に取り組むこと、機動的な調査が重要である。

《指定討論》

■再発防止のために何が必要か—遺族の立場から—

藤井真希（赤ちゃんの急死を考える会）

保育事故の遺族・当事者家族や弁護士、研究者などの支援者で組織する「赤ちゃんの急死を考える会（ISA）」は、保育重大事故をなくすために様々な活動を行っている一方で、毎年新たな遺族を会員に迎えているのが現状である。保育事故の実態や事故対応における問題点を遺族の立場から報告し、再発防止のために何が必要かを考えたい。

■保育中の「お昼寝」を再考する

石川幸枝（全国民間保育園経営研究懇話会）

昨年夏「保育施設の事故から学ぶ」という研修会の分科会に提案された保育事故の6本の報告すべてが、うつぶせ寝による死亡事故であった。「うつぶせ寝はさせない」と注意喚起されているのにも関わらず、うつぶせ寝による乳児の死亡事故の多発に愕然とする。「保育の中のお昼寝」についてあらためて考えたい。